

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日																													
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	化学療法委員会承認4 平成 年 月																													
レジメン名	DCS(胃がん) (アプレビタントカプセル)																															
疾患名	胃がん	適応の備考																														
適応分類	進行再発																															
1コース日数	28 日間	総コース数	コース催吐性リスク高度																													
抗がん剤投与量・投与日 Ⅱドセタキセル40mg/m ² day1、シスプラチン60mg/m ² day1、S-1 80mg～120mg/body分2 day1-day14																																
治療スケジュール・投与日程（投与日は●）																																
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート																															
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																											
2	主ルート	アロシ注バッグ0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																											
	点滴静注	デキザート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																											
	点滴静注	デキザート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																											
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	60 分	●																											
	点滴静注	ドセタキセル	40 mg / m ²		●																											
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																											
	点滴静注	シスプラチン	60 mg / m ²		●																											
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																																
5	主ルート																															
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●	●																									
6	経口投与	S-1	9999 mg / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●														
		分2 朝夕食後																														
		(体表面積) 1.25m ² 未満 80mg/day																														
		1.25～1.5m ² 未満 100mg/day																														
7	経口投与	アプレビタントカプセル	125 mg / body		●																											
		抗がん剤の投与1時間前に服用																														
8	経口投与	アプレビタントカプセル	80 mg / body			●	●																									
		分1 朝食後																														
9	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●	●																							
		分2 朝昼食後																														

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

シスプラチン:希釈は生食のみ。

シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。

・day2～5のデカドロン錠は、経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。

・day5のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

アプレビタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。

アプレビタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。

アプレビタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。